NEWS RELEASE

北洋銀行

2025年1月17日

各 位

株式会社北洋銀行

株式会社北海道共創パートナーズ

古川建設株式会社様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行（取締役頭取　津山　博恒）と子会社の株式会社北海道共創パートナーズ（代表取締役社長　岩崎　俊一郎）は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、古川建設株式会社様（北海道上川郡新得町、代表取締役社長　古川　雅信様）が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

北洋銀行グループは今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会　社　名	古川建設株式会社
所　在　地	北海道上川郡新得町西1条南1丁目51番地2
代　表　者	代表取締役社長　古川　雅信
業　　種	建設業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以　上

北洋銀行グループは、2018 年12 月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

古川建設株式会社

サステナビリティ経営方針

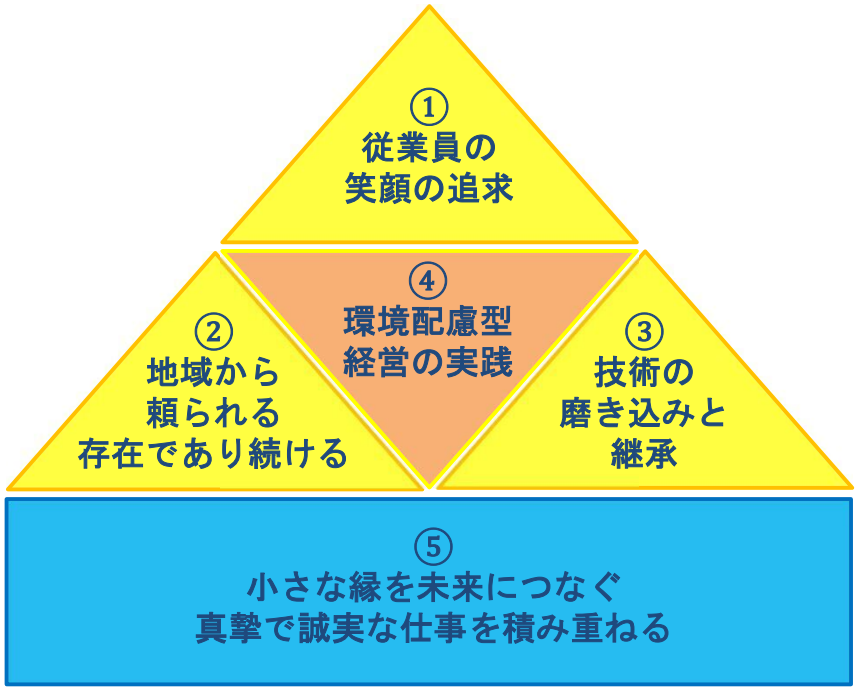
私たちは「小さなご縁を大切に」をモットーにどんな仕事にも誠心誠意、一つ一つ真摯に取り組みます。地域と共に歩む会社として、一つ一つの出会いを大切にし、これから先も小さな縁をつなぐ取り組みを積み重ねていく事で、お客様満足と同時に従業員の笑顔を実現し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります（2025年1月 古川建設株式会社）

Furukawa

〈経営理念〉

小さな縁が未来につながる

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

区分	事業環境の変化	重要課題（Materiality）	取り組み内容＆ありたい姿
E 環境	● 地球温暖化 ● 生態系の変化 ● 脱炭素への対応 ● 廃棄物問題 ● 循環型社会の実現 ● 森林環境の保全		〈経営ビジョン・ありたい姿〉 地域と共に歩む会社 〈取り組み内容〉 ① 女性が活躍できる職場環境整備 業務効率化の推進 ② 空き家を有効活用した事業展開 地域防災への貢献 ③ 資格取得支援体制の構築 次世代人材の採用・育成強化 ④ 温室効果ガス削減の取組み ⑤ 経営理念の社内浸透推進 法令遵守の徹底 コンプライアンス管理体制構築
S 社会	● 地域人口の減少・働き手不足 ● 空き家問題の深刻化 ● 省エネ、耐震性能に対する規制強化 ● 価値観やライフスタイルの多様化 ● 働き方改革の進展		
G 経済 ガバナンス	● コンプラ意識の高まり ● 不祥事による企業イメージ低下リスク増加 ● サイバー攻撃の増加 ● 消費者ニーズの多様化 ● 防災機能強化必要性の高まり ● 技術革新・DXの進展		

■ 社会

重要課題	取り組み内容	目標とKPI	主な ステークホルダー	現状の取り組み状況
従業員の 笑顔の追求	女性が活躍できる職場環境整備	■ 2030年度までに、女性技術者数を２名にする	従業員	● 協力企業との連携体制の構築 ● 地元のサービスを優先活用した地産地消の推進 ● 適正な保守管理を通じた住宅の長寿命化推進 ● 土木工事を通じた鉄道インフラ維持への貢献 ● 神社等歴史的建造物の保守を通じた、地域文化財の継承 ● 社員満足度調査の定期的な実施 ● 社員の声を形にする企画の実施 ● エゾ鹿肉加工販売事業を通じた、生態系バランス保全や地域経済活性化への貢献
	業務効率化の推進	■ 2025年度までに、案件進捗状況を把握するための仕組みを構築する		
地域から頼られる 存在であり続ける	空き家を有効活用した事業展開	■ 2030年度までに、空き家をリノベーションした住宅の取扱い件数（販売・賃貸）を累計で100棟以上にする	お客様 地域社会	
	地域防災への貢献	■ 2030年度まで、地域における災害復旧に関する協定締結を維持する		
技術の磨き込み と継承	資格取得支援体制の構築	■ 資格取得を促す制度を整備し、2030年度までに施工管理技士の資格取得者を新たに10名増やす	従業員 お客様 協力企業	
	次世代人材の採用・育成強化	■ 2030年度までに、5名の社員を採用する		

■ 環境

重要課題	取り組み内容	目標とKPI	主な ステークホルダー	現状の取り組み状況
環境配慮型 経営の実践	温室効果ガス削減の取組み	■ 2025年度までにCO_2排出量(Scope1・2)を算定し、削減に向けた取り組みを進める	地球環境	● 廃棄物の削減・再資源化（再生砂利等で再利用）

■ 経済・ガバナンス

重要課題	取り組み内容	目標とKPI	主な ステークホルダー	現状の取り組み状況
小さな縁を 未来につなぐ 真摯で誠実な 仕事を積み重ねる	経営理念の社内浸透推進	■ 2025年度までに、経営理念の社内浸透を目的としたブランドブックを作成する	従業員 お客様 協力企業	● お客様の声を形にする前例に捕らわれないサービスの提供 ● こまめなコミュニケーションを積み重ねた、お客様との信頼関係構築
	法令遵守の徹底	■ 2030年度まで、四半期に1度、法令改正に関する内容共有のための勉強会を実施する		
	コンプライアンス管理体制構築	■ 2030年度まで、年に2回コンプライアンス・ハラスメント研修を実施する		